

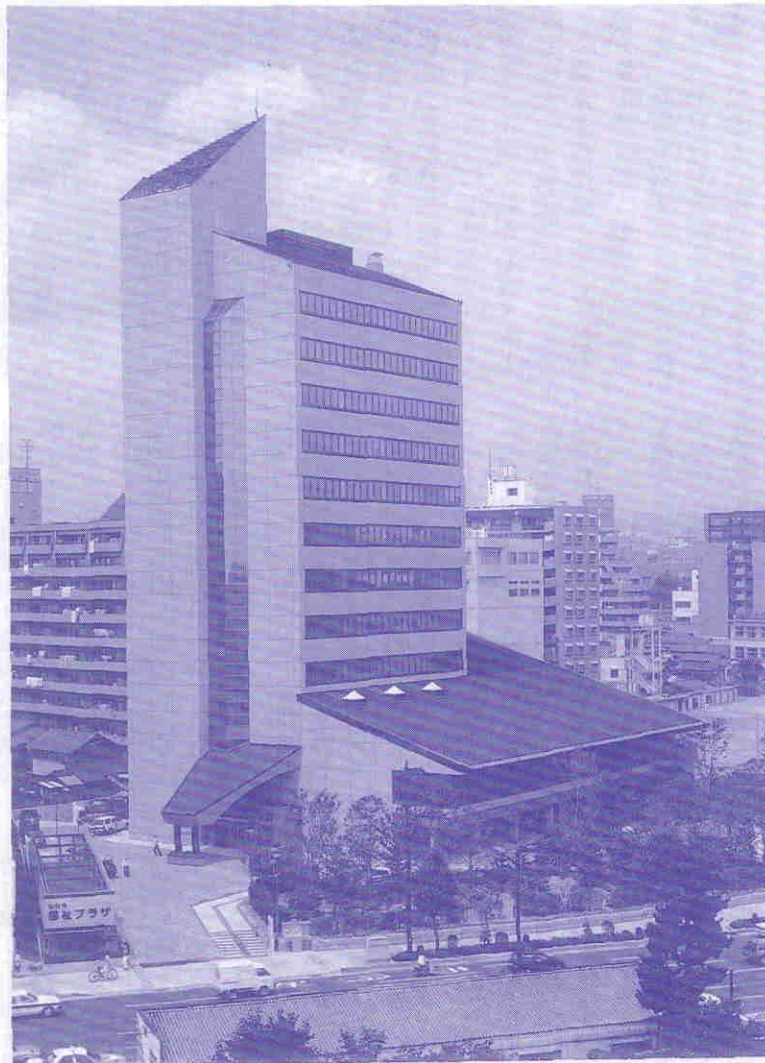
仙台市
連合町内会長会だより

平成7年3月

第 6 号

仙台市連合町内会長会
市連長会だより

題字は藤井仙台市長



仙台市福祉プラザ

(青葉区五橋二丁目12-2)

目次

あいさつ.....②

仙台市連合町内会長会

会長 早川 五兵衛

仙台市長 藤井 黎

区連協活動状況.....③～⑦

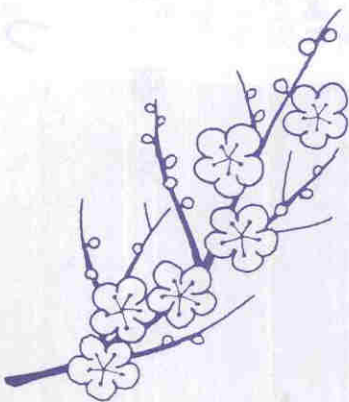
他都市の自治組織見聞記.....⑧

仙台市から再開発ビル建設
についてのお知らせとお願い.....⑨

阪神大震災義援金について.....⑨

市連長会の活動.....⑩

編集後記.....⑩





ごあいさつ

仙台市連合町内会長会会長

早川 五兵衛

町内会の皆様には、日頃、地域活動の指導者として、地域の発展と地域住民の福祉の向上にご尽力を賜わり心から感謝申し上げます。

さて、小正月気分も冷めやらぬ一月十七日早朝、突如として兵庫県南部を襲った直下型の地震は、戦後最大級の地震として阪神地域に未曾有の大災害をもたらしました。

この「阪神大震災」により尊い生命を失われた五千余名の犠牲者に対し深く哀悼の意を表するとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

更には、家屋の倒壊等により避難され今だに不自由な生活を余儀なくされております約三十万人にも及ぶ被災者の皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げます、心よりお見舞いを申し上げます、心よりお見舞いを申し上げます、心よりお見舞いを申し上げます。

思い起こしますと今から十六年前、仙台市民は、あの忌わしい「宮城県沖地震」に見舞われ、かってない災害を経験いたしました。その時は、全国津々浦々から

物心両面にわたる熱かい励みや、ご支援を頂き仙台市民の大きな励みになったことは今でも心の中に残っております。

仙台市連合町内会長会といたしましては、被災地の一日も早い復興を願ひ、被災者の皆様に対し支援の手を差し延べることにいたし、仙台市民のまごころを伝えるため、義援金の募集に取り組んでまいりました。

町内会長の皆様には、何かとお忙しい中、ご協力頂いておりますことに心から厚くお礼を申し上げます。

「備えあれば憂いなし」との諺がありますが、仙台市当局はこの「阪神大震災」を契機に防災計画の見直しを図るといふこととしており、町内会としても行政当局と一体となった「自主防災組織」等の検討を行うべきと考えているところであり

最後に各町内会の益々のご発展と市民の皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。



ごあいさつ

仙台市長 藤井 黎

仙台市連合町内会長会の皆様には、日頃、住民福祉の向上と地域の発展のためご尽力をいただき、また市政運営に特段のご協力を賜わり心からお礼を申し上げます。

21世紀まであとわずか数年。高齢化、少子化など、新世紀の潮流は身近な現実となっており、市民一人ひとりが充実した人生を実感できるように都市づくりを全力投球すべき時期を迎えていると思ひます。

昨年は、記録的な猛暑、少雨の夏となり、水稲の収穫時期には局地的な豪雨による被害はありましたが、好天に恵まれて豊作となり、地域経済も長い不況から脱する兆しをゆるやかにながらも見せ始めました。

こうした中で、本市は「杜の都環境プラン基本構想」「産業ビジョン」など新たな市政の柱となる構想の策定、「福祉プラザ」の開設など、時代の課題に応える新しい都市づくりに向けた各種施策を積極的に進めて参りました。

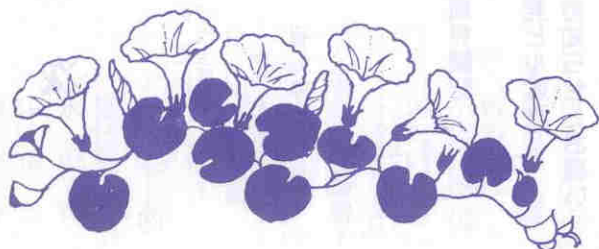
今年、「21世紀都市・仙台」を展望する新しい枠組みの基に、様々な分野で先行的な施策を展開し、市民生活の一層の向上を図り、仙台の未来を開くまじぶくりを積極的に推進してまいり

考えであります。中でも、都市の安全性の確保は普遍的な課題であるという認識の基に、今回の「阪神大震災」の詳細な実態把握と分析を踏まえて、本市が

「宮城県沖地震」の教訓に基づいて進めてきた防災都市づくりを再点検し、大規模都市災害に対しても万全な対応策の確立を図ってまいります。また、地球環境時代をリードし、住よき、暮らしやすさの快適感に満ちた都市づくりを目指すとともに、地域産業の活性化、国際的機能の集積など自立的な産業の構造の形成に向けた施策の展開を図り、時代に対応する都市・仙台の実現に向けて全力で取り組んで参る所存でございますが、そのためには地域住民の方々のご理解とご協力が不可欠であります。市政と住民の架け橋として、

経験豊富な市連合町内会長会の方々を始め、各町内会長さん方のご尽力、ご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、仙台市連合町内会長会の益々の発展と、皆様のご健康をお祈り申し上げます。ごあいさつといたします。





青葉区

平成六年度 青葉区連協活動について

青葉区連合町内会長協議会は平成六年一月現在、35連合町内会、470町内会で構成運営されております。

各連合町内会が相互に連絡協議し、親睦を深めながら町内会活動を積極的に推進しております。同時に区行政との連携を密にしなが、子供やお年寄り、障害をもった方々など、誰もが生き生きと暮らせるような、まちづくりに取り組んでおります。平成六年度の活動としては、新任町内会長研修会をはじめとして、町内会会員研修会（昨年度までは婦人研修会）を開催、参加者の活発な意見交換が行われました。

この他、区との懇談会、理事会を開催し、区におけるまちづくり等について提言、要望等を行っております。また、新しい杜の都づくり青葉区協議会へ積極的に参加して

おりますが、なかでも区民まつりへの参加を各地区連合町内会へ呼びかけ、名実共に区民手づくりのまつりにと意気込んでおります。また「ほたるの里事業」「グリーン青葉事業」等への参加、住よい地域づくりに努力しているところであります。



新任町内会長研修会

地域環境の整備やコミュニティづくり、地域福祉等における町内会の活動は、今後ますます重要なこととなってきております。

町内会が各種の活動を進める上で、また市の行政と住民とのパイプ役である町内会長の役割は、行政にとっても住民にとっても重要な位置づけとなっております。

新しく町内会長になられた方々が、今後の町内会運営に少しでも役立つように、また市、

区の行政のしくみを理解し、互いに協力しながら、住みよいまちづくりを推進しようという願いを込めて、昨年に引き続き開催いたしました。



日時 平成六年七月二十日
会場 斎藤報恩会館
参加者 七十六名

演題及び講師
○青葉区の概要について
青葉区総務部長 斎藤 敬三 氏

○町内会育成事業及び広聴業務について
青葉区まちづくり推進課長 岡田 儀則 氏

○地域環境整備事業について
青葉区管理課長 千賀 昭一 氏

○町内会の運営にかかわること
青葉区連協副会長 田中美知男 氏

町内会会員研修会

昨年度まで婦人研修会として開催していましたが、より多くの方々に参加していただくよう開催いたしました。

今回の研修会には、講師として東北工業大学教授の矢内先生と仙台市立病院精神科部長の浅野先生をお招きして、それぞれ専門の立場から講演していただき、多くの参加者の賛同を得ました。

日時 平成六年十月五日
会場 斎藤報恩会館
参加者 一九〇名

「家族と子供の社会」
東北工業大学教授 矢内 諭 氏

「健康管理について」
仙台市立病院精神科部長 浅野 弘毅 氏

場 所 八幡コミュニティセンター
※主な懇談内容
広報紙の配付等について・違法駐車取り締まりについて・都市計画道路の早期着工・他

○北仙台地区連合町内会
日時 平成六年七月二十七日
場 所 水の森市民センター
※主な懇談内容
市道の遍入について・側溝の整備・下水道工事の促進・他

○桜ヶ丘学区連合町内会
日時 平成六年十月十九日
場 所 桜ヶ丘コミュニティセンター
※主な懇談内容
市民センターの設置・新交通システムについて・他

○荒巻地区町内会連合会
日時 平成六年十月二十五日
場 所 荒巻コミュニティセンター
※主な懇談内容
歩道の拡幅・側溝の清掃・集会所の設置・他

○国見学区連合町内会
日時 平成七年一月二十七日
場 所 国見コミュニティセンター
※主な懇談内容
通学路の整備・市道の整備・コミュニティセンターに冷房の設置・他

平成六年度地域懇談会
○八幡地区町内会連合会
日時 平成六年七月五日



青葉区連合町内会長協議会
会長 伊藤 馨



**宮城野区
連合町内会長協議会
平成六年度活動状況**

▽歓送迎会

4月14日、宮城野区長等の人事異動に伴う歓送迎会を宮城第一ホテルにおいて開催いたしました。

▽総会、市長との懇談会

4月26日、平成6年度総会を仙台サンプラザを会場に開催いたしました。



総会に先立ち、藤井市長より宮城野区内における今年度主要事業についての説明を受け、活発な質疑を交わし懇談会を盛会裡に終了しました。
総会では、提出議案が原案どおり承認されました。

▽青葉まつりへの参加

5月15日、第10回青葉まつりが開催され、宮城野区からは各連合町内会からの推薦を受けた皆さんと区役所職員総勢26名が「仙台堤人形」の時代行列にふんし参加しました。



▽移動研修会

9月1・2日、蔵ハイツを

会場に、区役所より津谷川区長をはじめ6名、各連合町内会より39名が参加し、初めての移動研修会を開催しました。
晴天に恵まれ、宮城県蔵王野鳥の森自然観察センター「ことりはうす」と宮城蔵王こけし館を見学しました。

初めての一泊の研修会でしたが、これからの宮城野区のまちづくりについて活発な意見交換が行われました。
参加町内会長より、たいへん有意義な研修会だったと好評でした。



▽第六回み・や・ぎ・の・まつりへの開催協力

10月16日、新しい杜の都づくり宮城野区協議会の主催による「第六回み・や・ぎ・の・まつり

」が榴岡公園において開催されました。
手づくりのまつりとして、昨年を上回る参加者があり大成功でした。



▽施設見学会

10月25日、各連合町内会より33名が参加し施設見学会を開催しました。
場所は、こども宇宙館、健康

増進センター、水道記念館、松森資源化センターを見学しました。
新しいまちづくり、またゴミ問題についての意見交換も活発に行われました。

▽新年交流会

1月19日、仙台サンプラザにおいて、57名の参加者を得て平成七年のはじまりを祝いました。
東海林収入役をはじめ砂金市民局長、津谷川区長等の来賓を迎え、宮城野区内13連合町内会の相互交流、情報交換、懇親を図りました。

また、兵庫県南部地震の被災地に対する義援金を募り、見舞金を贈ることを決めました。

昭和53年の宮城県沖地震の際、全国の方々から温かい励ましのお見舞いをいただいたことを振り返り、この度の犠牲者の方々に心からご冥福をお祈りするとともに、被災地の一刻も早い復興を願うものです。

▽定例会の開催

隔月第三木曜日に各連合町内会長参加による定例会を開催し、意見交換、情報交換を交えながら、区連協の運営に当たっております。

宮城野区連合町内会長協議会

会長 永田 百男



**若林区連協
平成六年度
活動状況**

若林区連合町内会長協議会は、平成7年1月現在9連合町内会172単位町内会で組織運営がなされています。

次に、平成6年度の活動内容について、開催順に紹介させていただきます。



4月18日、平成6年度の仙台市や若林区における主要事業に關し、全般に亘り説明を受け、要留意見として、社会福祉施設の充実・仙台東部及び南部道路の供用開始に伴う交通問題等について、活発な質疑をかわし盛況裡に終了した。

二、平成6年度区連協定期総会の開催

4月28日、伊藤区長ほか、多数の来賓を迎え開催されました。

平成5年度事業報告・収入支出決算報告

平成6年度事業計画・収入支出予算について
原案通り承認されました。

三、町内会長移動研修会開催

8月25日、町内会長110名の参加をえて、研修会を実施した。

車中、事務局より野外掲示板設置費の補助事業、街ぐるみ清掃、10月に行われる若林区民ふるさとまつり概要などの説明を受けながら、一路岩手県へ、始めに日本百景尻鼻溪舟下りを楽しみ、観光センターで昼食をとりながら、町内会の現況などさまざまな問題を互いに情報交換しながら親睦を深めました。

昼食後は、国指定重要文化財奥の正法寺を参詣、次にNHK大河ドラマのロケ地、歴史公園えさし藤原の郷を視察し、有意

義な研修会の日を過ごすことができ、参加町内会長より大変好評をいただきました。

四、「若林区民ふるさとまつり」開催への協力

10月22・23日、若林区民ふるさとまつり実行委員会主催の第6回「若林区民ふるさとまつり」に対し、組織の一員として全面的に協力した。



五、若林区シンボルマーク制定

若林区の魅力あふれるまちづくりを推進するとともに区民ふるさと意識を醸成し、一層の高揚を図るため、若林区のシンボルマーク制定に協力した。

応募状況は、全国より582人72点の応募があり、シンボルマーク選考委員には、区連協理事も加わり、審査の結果埼玉県本庄市グラフィックデザイナー福島進さんの作品が最優秀に選ばれた。

区連協ではこのシンボルマークを封筒・パンフレット等に用いまちづくり推進の高揚のため全面的に協力することとした。

六、定例会の開催

毎月各連合会長の参加による定例会を開催し、区連協運営の全般に關し、意見交換のうえ、区連協の運営に当たっている。



七、若林区名画鑑賞会の協力

若林区文化センターを若林区の文化発信の拠点施設として支援するとともに、区文化活動の活性化と地域の人々のコミュニケーションの推進を図るため、区文化センター開館一周年を記念し、名画鑑賞を行う映画祭を、若林区主催で開催することになりました。

2月22・23・24の3日間で1日3回計9本の名画上映となり、テレビでは味わえない迫力と名画をより多くの方々に鑑賞していただけるよう、区連協としては、パンフレットの配付に全面的に協力することとした。

以上が、若林区連合町内会長協議会の平成6年度の主な活動状況である。

若林区連合町内会長協議会
会長 佐藤 文也





太白区連協
平成六年度
活動状況

太白区では長町副都心整備事業、富沢駅周辺土地区画整理事業等新しいまちづくりが着々と進められています。

区内十八連合町内会、二百五十三単位町内会は相互に密接な連携をとりながら、行政と一体となって明るく住よい地域づくりに努めております。

以下平成六年度の主な活動について紹介いたします。

▽青葉まつりへの参加
5月15日第10回青葉まつりが開催され、太白区が担当した時代行列「片倉長槍隊」へ地区連合会から多くの方々が参加し祭りを盛り上げました。



▽区選出市議との懇談会

太白区選出市議員十四名の方々の出席のもと、「今後の太白区のまちづくり」を議題に8月24日懇談会が開催された。

相互に忌憚のない意見が活発に交わされまちづくりを進めるにあたって有意義な懇談会となり、今後とも継続して開催することを申し合わせた。

▽移動研修会を実施

9月27・28の両日花巻市志戸平温泉を会場に、荻野区長他幹部職員の出席を得て、地区連合町内会の活動報告まちづくりについての意見交換が活発に行われた。

途中、北上市立博物館、みちのく民族村・高村光太郎記念館・えさし藤原の郷等を見学する

など充実した研修となった。

▽区民ふるさとまつりへ参加

新しい杜の都づくり太白区協議会主催による第6回太白区民ふるさとまつり（本まつり）が10月16日開催され、地区連合会長がまつりの運営に参加し大いに活躍した。



▽新年研修会を実施

1月19・20日秋保地区におい

特にステージでは区内六連合会による歌・踊り、大正琴合奏等の熱演があり喝采をあげた。

▽移動研修会を開催

11月8日川崎町釜房湖畔ドライブインにおいて荻野区長他幹部職員に出席をいただき、これまでの活動報告を兼ねて研修会を開催した。

て荻野区長他幹部職員に出席いただき懇親を兼ね研修会を実施した。

特に今般の阪神大震災に対し義援金募金活動を行うことを申し合わせた。

▽阪神大震災義援金募金を実施
今般の未曾有の災害に対し、

かつての宮城県沖地震への救援に対するお礼をこめ義援金を送ることとし、区連協から各単位町内会に協力を依頼し募金活動を実施しました。

一世帯三百円を目安に各班長さん方に各戸訪問による募金をお願いしたところ、三千五百余万円にのぼる多額の募金をいただきました。

この区民の心を被災地の日も早い復興を祈って寄贈させていただきました。

▽区行政との連携

太白区においては、地区連合会主催の地域懇談会を平成六年九月から平成七年一月の間に市民センター等を会場に七回開催されました。

懇談会には市長、区長他関係部局の幹部職員の出席をいただき道路整備促進、生活環境改善等市民生活に直結したさまざまな課題について懇談し、住みよいまちづくりのため大きな成果をあげております。

太白区連協は今後とも行政との連携を密にしなが、まちづくりにあたって住民サイドから積極的に提言するとともに協力して参りたいと存じます。

太白区連合町内会長協議会

会長 早川 五兵衛



泉区連協
平成六年度
活動状況

件から逐次解決がはかられ、また残る問題については一応ケジメをつけることができました。

二、地区社協の設立について
泉区社会福祉協議会からの要請と支援を受け、高齢化時代に備えて各連合町内会長が音頭となりとなり、夫々の連合町内会地域毎に所謂地区社協の設立に努めました。現在既に11地区で地区社会福祉協議会が結成されておりあります。

三、敬老祝金条例の改訂に際して

して

今年度、敬老祝金に関する仙台市の条例改訂がありました。泉区の従来の制度慣習に比較し、余りにも急な基準変更であったので、行政当局に対し再考されるよう陳情活動を行いました。

四、市政懇談会における要望

・提案について

区民交流広場の設置や、地下鉄を更に北・北西部方面へ延伸下さるよう住民としての要望をお話し申し上げました。

五、単位町内会運営面における実態調査

の実態調査

泉区は何百年も昔からの地域と、近年の新興住宅団地等々、極めて異なる背景を持つ町内会住民組織とで急激に発展しつつあります。斯様な事情から、町内会運営上お互いに許される範囲内で他町内の実情を知られば参考になることも多かるうとの声

があり、集会所の維持管理、ごみ集積所、広報掲示板等々について現状を調査、結果として、138の単位町内会から回答がありました。

▽その他の一般定例的動き

一、区連協の会議
今年度は区連協役員会9回、連合町内会長全員による全体会議3回開催し、区連協の運営を進めて参りました。また広報誌として「泉区連合町内会長だより」を二回発行しました。

二、敬老祝金
4月、泉区長を始め幹部職員の人異動があったので、連合町内会長22名が出席し、区長幹部職員への歓迎会を開催、親睦を深める中で、今後の運営について意志の疎通をはかりました。

三、ふるさと創生事業
6月5日、七北田川沿い4ヶ所でのクリーン運動、七北田公園河原敷でのアユ放流会に、連合町内会長ほか多数参加しました。

四、連合町内会長研修会
10月13・14日、栗駒町「いの村」にて開催、連合町内会長19名の他、佐藤区長始め関係職員の方々に参加いただきました。

研修は、「一心の時代とことば」と題して、めるへの森幼稚園・園長富田博先生のご講演をいただきました。

五、単位町内会長研修会
11月10・11、単位町内会長75名参加し研修会を開催、当初区役所研修室に於いて、「エイズその病気のしくみと最近の話題について」と題して、泉保健所所長佐藤牧人先生よりご講話をいただきました。終わって山形県天童市に移動、単位町内会長同士年に一度の懇親をはかることができました。

六、泉区選出市議会議員との懇談会
5月20日、泉区全体にかかる諸問題を議員の皆様へ提示し、問題の解決に向けて意見の交換を行いました。地下鉄延伸については、近未来問題として残ることとなりました。

七、泉区選出県議会議員との懇談会
8月26日、区選出4名の県議を招き懇談、区連協として日頃関心の深い4つの問題について尋ねました。

①地下鉄延伸について、②県立大学、県立図書館、の早期建設について、③警察官派出所、所員の増員について、④元七北田運転免許センター跡地利用について

これ等について各県議よりの説明によれば、大学及び図書館は平成9年を目標に進行中であること、その他については深い理解を示され、困難も多いが今後実現に努力したいとのことでした。

八、古川市社会福祉協議会視察研修
12月19日、地区社協未組織地区の連合町内会長9名参加。以上で平成六年度の活動概要報告といたします。

五、単位町内会長研修会
11月10・11、単位町内会長75名参加し研修会を開催、当初区役所研修室に於いて、「エイズその病気のしくみと最近の話題について」と題して、泉保健所所長佐藤牧人先生よりご講話をいただきました。終わって山形県天童市に移動、単位町内会長同士年に一度の懇親をはかることができました。



泉区連合町内会長協議会
会長 鷲尾 栄一郎

他都市の自治会組織見聞記

今回は、人口三九万人、世帯数一三万八千戸、面積二〇八㎢余の和歌山市の自治会組織について紹介することにします。

一、自治会の組織

1、単位自治会

自治会数一、〇六四で組織率は九六%と極めて良い、未加入者は大部分ワンルームマンション入居者で行政側からの勧誘は一切しない、単位自治会で適宜やっている。

単位自治会の世帯数は、小は三世帯から大は一、四七〇世帯まである。一世帯当たり月会費は百円から千円位まであり自治会によりまちまちである。

2、連合組織

市内一九の支所及び旧市内二三の連絡所毎に計四二の自治会連合会があり、行政の出先機関であるこの支所及び連絡所に事務局を置き、庶務会計事務を担当している。

全市の組織として、この四二の連合組織で和歌山市自治会連合協議会を組織し事務局を市役所自治振興室内に置き、市職員が事務を兼務している。

二、市からの助成金

全市自治会連絡協議会に対して運営研究委託料として二九〇万円、四二の地区自治会連絡会に対しては運営交付金として計二、二三四万円(均等割一地区二万円と一世帯当たり一六〇円)

単位自治会に対しては広報紙等配付手数料として、単価一九円×一二ヶ月分を世帯数に応じ交付するほか、県からも単価は九円であるが市同様世帯数に応じ交付される。

単位自治会において、集会所を設置する場合は、新築、修理又は土地を含めて設置しようとする場合、夫々に限度額を設定し助成することになっている。

三、表彰関係

1、自治会長一〇年未満の場合一年でも市長より感謝状が贈られる。

2、永年勤続会長

一〇年、一五年、二〇年、二五年、三〇年以上と五年毎に市長感謝状

3、連合会長

一〇年、一五年以上に該当することになったときに市長感謝状

以上のように感謝状であり、表彰状はなく、また自治会長のみが対象であり一般自治会役員は対象とならない。

四、市政懇談会

四二の地区自治会連合会長との市政懇談会を各地区から問題の提出を願い、それに回答するという型で年一回、また同様の方式で年一回県政懇談会を開催している。

仙台市のような単位自治会長を対象とした懇談会は実施していない。

五、ゴミ問題

1、生ゴミは週二回ビニール袋で定期に収集している、袋はビニール袋であればどれでもよいことにしている。

2、カン、ビン等リサイクル出comingものは別途日時、場所を指定し収集

3、粗大ゴミはハガキで申込みを取り、名前を書いて指定した日に指定した場所に出すことにしているが、当日電気、機械等の専門業者が必要部品を抜き取り不要品を放置散乱させているので対策に困っているとのことである。

六、その他

1、環境整備

和歌山市では美化推進及び美観の保護に関する条例を平成四年に制定し環境美化の観点から市内六〇〇ヶ所にゴミ箱と吸殻入れを設置した結果市内何処をみてもゴミや吸殻が見当らなくなり、非常に効果があり喜ばしている。

2、町内会活動での災害補償について

目下考えていない。3、連合協議会の特異な活動として市議会議員の定数削減に取り組んだことがあり、既に削減に成功し、現在も四十四名から更に削減するよう運動中であるとのこと。

以上であるが更に人口一四五万人の京都市を見るべく市役所を訪問したところ、京都市では、町内会等自治組織の運営に、市が係わることは好ましくないという判断から、両者の具体的な協力関係等は見受けられない。広報紙等は市政協力員七、六〇〇人を委嘱し配付しているとのことであった。因みに協力員に対する報酬は一人当たり二五円×担当世帯数×一二ヶ月分が年収となっており、平均一人年二万二千位とのことである。

仙台市連合町内会長会

庶務理事 斎藤 三郎



仙台市から

再開発ビル建設についての

お知らせとお願い

仙台市では、良好な都市環境の整備と都市機能の充実を図ることを目的として、市民と一体となつたまちづくりを基本に市街地再開発事業を積極的に推進しております。

この度、中央一丁目地区に位置する「仙台駅北部第一南地区第二種市街地再開発事業」は、地区内の権利者の方々のご協力

を得まして、商業施設、業務施設及び公益的施設を主要施設とする複合施設として計画がまとなり、(仮称)仙台駅北部第一地区再開発ビルを今春に建設する運びとなりました。

建物の規模は、地上33階、地下3階の高さ約145メートル、延床面積約七三、一三〇㎡で、現在のところ東北一の高さのビル

となります。この再開発事業は、仙台市が総合的なまちづくりを推進している仙台駅北部地区において、その中心的な役割をもつまちづくり計画です。

これまでの経緯を申し上げますと、JR仙台駅の西側は昭和20年に震災により焦土と化した地域でしたが、震災復興土地地区画整理事業によって都市基盤整備が行われ、仙台市の中心地区としての街並みを形成しております。

その中で、仙台駅北部地区はJR仙台駅の北側に近接する地区でありながら、当時の社会情勢などにより、当地区は震災復興の実施区域から除外されたため、都市基盤整備が遅れ、混在密集した町並みとなつていたものです。

その後、この地区の整備について様々な視点から検討するため、アンケート調査、現況調査などを行いながら地域整備の計画を進め、オイルショックなどの紆余曲折を経ながら、総合的

なまちづくりの観点から市街地整備の計画を立案し、その実現を図ってまいりました。

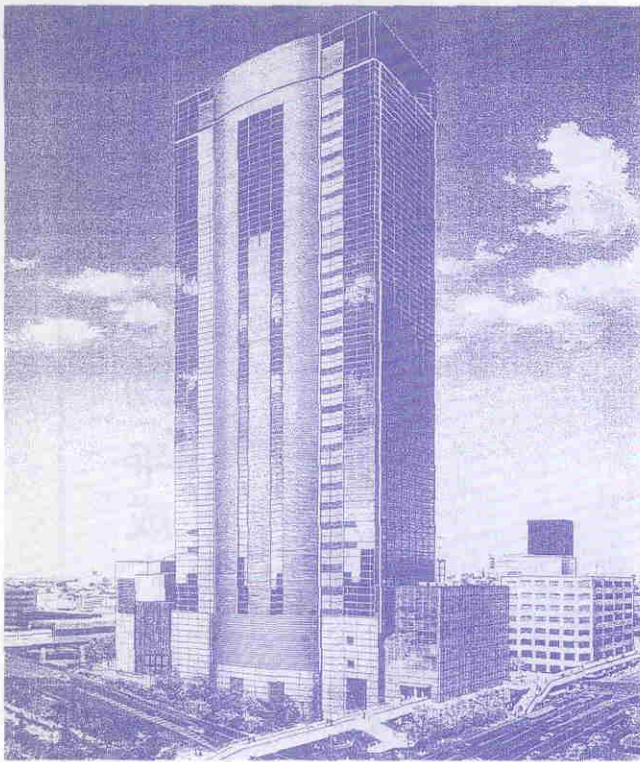
とりわけ、仙台駅北部第一南地区第二種市街地再開発事業は、都市計画道路元寺小路福室線と仙台駅旭ヶ丘線の公共施設整備と施設建築物の整備を一体的に行う事業のため、仙台市が施行者となつて行っております。

ここに建設されます再開発ビルの完成は、平成10年3月頃の予定です。

工事期間中は、騒音、振動の発生、交通安全対策等々に最大限の努力をいたす所存ではあります。いままでにはない大規模な建築工事のために、市民の皆さんにはご迷惑をお掛けするところが多々あるかと思っております。特段のご理解とご協力を賜わりたくお願い申し上げます。

また、電波障害の対策につきましても、専門機関による調査、そしてそれにもとづいて障害の影響が出る予想される地域の皆様へ説明を行いながら、共同受信方式、ケーブルテレビ(CATV)などの方法により速やかに対策を講じますので、併せてご理解とご協力を賜われますようお願い申し上げます。

担当：都市整備局都市開発部都市再開発課



阪神大震災 義援金について

大震災後直ちに緊急正副会長会を開催、義援金の募金について各区連協毎に直ちに取組むこととし、義援金は市連会長会として一本にまとめ送金することに決した。

二月十七日集計の結果五千三百二十二万余円となったので、同日午後三時日赤仙台地区本部長である藤井市長に託し被災地に送ることとした。

ご協力を頂いた町内会の役員の皆さんを始め、会員の皆さんに厚く御礼を申し上げます。



市連長会の活動(平成六年度)

6・4・15	平成五年度会計監査	7・27	正副会長会	11・8	千葉市町内会連合会より四五名視察団来庁	3・10	正副会長会	仙台市連合町内会長会役員名簿 平成七年三月現在
5・10	正副会長会	7・27	市民憲章全国大会	11・8	区民交流広場の設置について・ほか	3・1	市連長会だより第三回編集委員会	
	○理事会(総会)に付議する事項について		○福祉プラザ開館について	11・16	正副会長会	2・6	市連長会だより第二回編集委員会	
	○全国自治会連合会に加入することについて		○仙台市違法駐車等の防止に関する条例の配付について	11・16	市連長会だより第六号編集委員の選出	2・17	緊急正副会長会	
	○理事定数について		○ゴミに関する情報紙の配付について	11・23	他都市視察(和歌山、京都の両市)	2・17	義援金について	
	○平成六年度配布等依頼文書について		○全国自治会連合会の資料について	12・20	正副会長会	2・17	緊急正副会長会	
5・18	理事会(総会)	8・12	市三役との懇談会	11・23	他都市視察(和歌山、京都の両市)	2・17	緊急正副会長会	
	○平成五年度決算	9・16	正副会長会	11・23	他都市視察(和歌山、京都の両市)	2・17	緊急正副会長会	
	○平成六年度予算(案)		○町内会役員の永年勤続表彰について	12・20	正副会長会	2・17	緊急正副会長会	
	○役員を選任について		○他都市視察について	12・20	正副会長会	2・17	緊急正副会長会	
	○全国自治会連合会に加入することについて	10・12	正副会長会	12・20	仙台駅北部第一南地区再開発ビル新築工事について	2・17	緊急正副会長会	
	○永年勤続者表彰		○仙台市民健康ウォークラジオ体操について	7・1・12	市連長会だより第一回編集委員会開催	2・17	緊急正副会長会	
6・9	緊急正副会長会		○全国自治会連合会の全国大会開催について	1・20	緊急正副会長会	2・17	緊急正副会長会	
	○新しい杜の都づくり協議会について		○市連長会運営費補助金の増額について	1・27	正副会長会	2・17	緊急正副会長会	
6・13	正副会長会		○秋の火災予防運動について	1・27	市三役との市政懇談会	2・17	緊急正副会長会	
	○選管及び建設省からの広報依頼について		○渋谷区町内会連合会より七〇〇視察団	1・27	市三役との市政懇談会	2・17	緊急正副会長会	
6・20	正副会長会			1・27	市三役との市政懇談会	2・17	緊急正副会長会	
	○東北都市社会学研究会との共催による住民自治組織に関する実態調査について			1・27	市三役との市政懇談会	2・17	緊急正副会長会	

編集後記

一月十七日午前五時四十六分頃の突然の兵庫県南部地震(阪神大震災)の大惨事には、全くの驚きであり皆さんと共に深刻に受けとめていききたいと思えます。

さて今回の第六号を編集するに当たり、読みやすくをモットーにA4版と大きくなりました。

編集委員

- 委員長 斎藤三郎
- 委員 守谷太利治
- 委員 永田百男
- 委員 山田仁策
- 委員 熊谷康也

